

はにい『自己肯定感を育む』

令和3年9月16日

今日は、6年生が、一緒に学ぶ1年生と話したり遊んだりして、なかよくなる会を企画して進めています。

「次は、1年生の好きなものをテーマにして話します。」

「う〜ん……」考え込む1年生。

しばらくして、1年生の手がそっと挙がりました。

「ヤシの木」

1年生が黒板にヤシの木を描き始めました。

「上手だね。」6年生の声に、笑顔になる1年生。



「ヤシの実の中身は飲むことができるんだよ。」

「そうなんだよね。」

「僕も飲んだことがある。」

「そうなんだ。」

ヤシの木がどんどん出来上がっていきます。

会の終わりを迎え、1年生が感想を述べる時間。なかなか言えずにいる1年生。

「1年生が、喜んでくれたのでよかったです。」6年生が優しく声をかけます。

他の6年生も「わたしも楽しかったです。」と続きます。「絵を描いた時が楽しかったね。」

「そうだね。楽しかったね。」1年生は6年生の言葉をじっと聞いています。

すると、先生が、ゆっくりと語りかけます。「6年生は、1年生のことをたくさん知って、もっと楽しく一緒にすごしたいと思って、今日まで、どんなことをするのかを考えてきたんだよ。」

「うれしいな」と1年生。自分から立ち上がり、大きな声で「ありがとうございました。」

その声に「どういたしまして。」と笑顔で応える6年生。

「どういたしましてって、大事だね。」

先生は子どもたちの言葉を、ひとつずつ受け止め、あたたかく返していく。

『はにい』はコミュニケーションツールです。みんなで語り合いましょう。

ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp